

あらかわ産業ナビ

「あらかわ産業ナビ」は荒川区産業経済部が年間6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行する産業情報紙です。区内事業者や団体等を対象に7,000部を配布しています。



【サドベリースクール アルママ (代表:園田たきねさん)】

荒川区ビジネスプランコンテスト2023「最優秀賞」受賞

地域の店舗や事業所とも連携 新しいカタチの「学びの場」を開設

地域とつながる「子どもの個性を活かしたフリースクール」

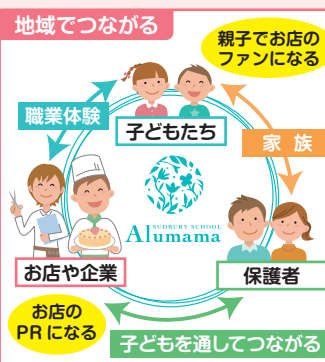
令和5年度の「荒川区ビジネスプランコンテスト2023」は、サドベリースクール アルママの園田さんが「子どもの個性を活かしたフリースクール」の提案で最優秀賞に輝きました。自分の子どもの教育を模索する中で、米国のサドベリー・バレー・スクールの「子どもが本来持っている生きる力を100%信頼する」という理念に共感。国内初のサドベリースクールで研修を受けた後、昨年1月にアルママを開校しました。自らのネットワークで探してきた講師陣と一緒に、プログラミング/ピアノ/英語/自然体験/科目教育などをオンラインやリアルで学べる仕組みを立案。独自のマネー教育や職業体験も実施し、子どもが社会的に自立できる教育プログラムを整備しました。地元の協力企業や店舗と連携するプランも今回高評価を得ました。現在は週2回スクールを開校し、見学や体験利用も可能です。今の学校が合わない子に「学びの場」の選択肢を増やすため、将来的には2校目を起ち上げたいと目標を語ってくれました。



サドベリースクール アルママ 代表 園田たきねさん

《最優秀賞プラン》実践校 サドベリースクール「アルママ」をご紹介

サドベリースクールは、子どもを信頼し、子どもと大人が対等な立場で学び、運営する米国発祥の民間の学校(フリースクール)。アルママはこれを土台にしつつ、地域資源を活かした職業体験やお金の勉強など、独自の要素を加えた荒川区初のフリースクールです。「色々な理由で不登校になる子どもがいます。ただそれは、その子にその学校が合わなかっただけ。子どもが持つ個性を活かし、輝ける学びの場を提供したい」と園田さんは考え、あるがまま、ありのまままでいられる空間という意味を込めて「アルママ」を設立しました。学費は現在、月2万円から2万5千円程度。東京都が実施する「フリースクール等に通う不登校児・生徒支援調査協力者」認定校なので、都から子ども1人につき月2万円が保護者に支給されています。



荒川コミュニティカレッジをきっかけに地域活動を展開

園田さんは現在、民間企業に勤務しながらアルママを運営しています。学生時代にはYMCA主催の子ども向け水泳教室やスキー教室に携わっていました。結婚後、子育てをしながら、区の生涯学習課の事業「荒川コミュニティカレッジ(コミカレ)」に参加。後に「あらかわシングルマザーサポートネットワーク」を起ち上げ、副代表として地域活動も行ってきました。コミカレで受けた相手の個性を引き出すコーチング講座に感動し、その後コーチングを本格的に学び、資格を取得。アルママの開校もセルフコーチングで決意しました。子どもたちと関わるアルママのスタッフは、色々なコミュニティで得た豊富な人脈を活かして集めています。また、オープン参加の交流会「アルママカフェ」も不定期で開催中です。

● アルママのスタッフをご紹介

- 1 塚田幸子さん《特別顧問》道灌山学園保育福祉専門学校・講師
- 2 山田智子さん《アルママ現場担当》発達相談員・公認心理師・元心理判定員
- 3 鈴木潤一(じゅんいち)さん《アルママ現場担当》Gallup認定ストレングスコーチ
- 4 宮里美和子さん《アルママカフェ運営》保育士・幼稚園教諭免許保有
- 5 仁平小百合さん《アルママカフェ運営》
- 6 田中美保さん《Web担当》社会福祉士

1 職業体験
プロのシェフの手捌きを見てみよう
子どもの社会的自立をサポートするため、職業を知る機会として開催しました。

2 「稼ぐ」をやってみよう!
社会的自立にはお金が必要。「お金にまつわる5つの力」は歌いながら覚えます。イベントにお店を出して、準備からお客様の対応まで行う実践教育も行っています。

3 アルママの特徴
子どもを尊重し、やりたい!を大切に
子どもの「やりたい」を大事にしています。大人からの一方的な指示はなく、体験や普段の活動は子どもと大人で話し合って決定。決まりきったカリキュラムやテストもなく、色々な年齢の子どもと一緒に刺激し合って過ごしています。

4 マネー教育

【Profile】園田たきね(そのだ・たきね) サドベリースクールアルママ代表。結婚を機に荒川区に転入。フリースクールで使用することも考えて、今の場所に移りました。

【問合せ】サドベリースクール アルママ [住所] 荒川区荒川1-57-6 [Tel] 090-9373-5337 [公式サイト] <https://alumama.net/>

■ 荒川区ビジネスプランコンテスト2023を開催しました! 《最優秀賞以外の主要 4賞をご紹介》

今回で6回目となる「荒川区ビジネスプランコンテスト」のファイナルイベントが、令和5年11月27日(月)に開催されました。発表された7プランはどれも、社会課題解決への貢献、地域資源の活用、地域産業の活性化が期待できる内容。本コンテストは、区内での起業や事業展開を計画する、将来有望な人を応援するため、隔年で実施しています。

👑《優秀賞》& 👑《オーディエンス賞》

親子で荒川クイズ発見! 無料冊子で魅力拡散

伝統工芸や老舗のお店、お菓子やグルメ、町工場など、荒川区の魅力をPRするフリーペーパーを発行するプランです。親子で取材をする中で得た、子どもたちによる発見や素朴な疑問を「クイズ」形式にして、地域の魅力楽しく紹介します。発行を重ねて1冊にまとめれば「荒川区の保存版ガイドブック」になります。

あらかわQ-KIDZ (キューキッズ)
代表:壺井美香さん (つぼい・みか)

👑《城北信用金庫賞》

人とまちをつなぐ シェアキッチン

地域に貢献したい企業の空きスペースにシェアキッチンを整備。その貸し出しにより、飲食店経営の第一歩を応援するプランです。複数のテナントで共同利用することで、コストを抑えたスタートが可能。開業への支援のほか、テナント同士や来店客との交流などを通じて地域の活性化も目指します。

株式会社つむぐ設計 (シェアキッチン628)
代表:高橋 順子さん (たかはし・あやこ)

👑《東京商工会議所荒川支部会長賞》

若手芸術家の作品を 購入できる芸術祭事業

全国で活躍する若手芸術家の優れた作品を集めて「作品を購入できる芸術祭」を開催するプランです。各地の芸術祭で人気を博しながら、ギャラリーでの取り扱いが少なく世間に出回りづらい作家の作品を仕入れて、若年層も購入しやすい価格で提供。区内の空き家での開催も検討し、唯一無二の事業を目指します。

株式会社 経営芸術総合研究所
代表:田島 悠史さん (たじま・ゆうし)

令和6年度の主な産業振興施策 荒川区産業振興施策紹介

活力ある地域経済と賑わいのあるまちづくり

区の令和6年度予算における「産業革新都市」の実現に向けた施策の予算額は、28億8,200万円。このうち新たに開始する事業、拡充する事業の概要は、下記のとおりです。

今後も、変化する時代のニーズに的確に対応しながら、地域経済の持続的な発展につなげてまいります。

※各種補助金には要件があります。詳細はお問い合わせください。

【充実】2,941万円

1. 起業家の支援・育成の拡充

- 若い世代の起業マインドを醸成するため、おおよね25歳以下に向けた「U25起業セミナー」を開催。新たに中高生を対象に「起業家育成ワークショップ」なども実施します。
- 区内での起業促進策として、防災都市づくり部などと連携し、空き家を利活用して地域貢献事業を起業する場合に、賃料の一部を補助する新たな事業を開始します。



【問合せ】経営支援課 産業活性化係 [Tel] 03-3802-4683

【新規・充実】1,055万円

2. 区内への観光客誘致の充実

- 「日暮里駅前イベント広場」のにぎわいを創出するために、集客力のあるイベントを新たに開催。また、民間団体がイベントを実施する場合に経費の一部を補助します。
- 新たに区の「モノづくり」の魅力に触れる「展示・販売・周遊イベント」を開催。併せて成田空港プロモーションコーナーでインバウンド向けのPR活動も行います。



【問合せ】観光振興課 [Tel] 03-3802-4689

【充実】7,974万円

3. 商店街活性化の総合的支援

- 地域コミュニティの要である商店街を対象に、販売促進事業、誘客イベント、ハード整備、デジタル化などを、計画段階から実施に至るまで総合的に支援します。
- 課題解決に向けて専門家を活用する場合に経費を助成するとともに、若手リーダーの育成などに取り組む場合は助成上限を増やすといった支援の充実を図ります。



【問合せ】産業振興課 商業振興係 [Tel] 03-3802-4674

【充実】894万円

4. 企業情報化支援の充実

- 区内企業の経営基盤の整備や競争力の強化を図るため、デジタルツール活用セミナーと併せて専門家による伴走型支援を実施します。また、ホームページや動画の制作経費の一部を補助するなど、企業の情報化支援の充実を図ります。

【問合せ】経営支援課 産業活性化係 [Tel] 03-3802-4807

【継続】1,699万円

5. 製造事業者等の販路開拓支援の強化

- 製造業の事業者を対象とした販路開拓セミナーに加えて、東京ビックサイトで行われる日本最大級の専門展示会「機械要素技術展」に共同で出展するなど、企業向けの販路拡大を支援します。
- デザイン性や機能性に優れた製品を、モノづくりブランド「ara!kawa」認定商品として、区の内外にPR。オンラインストアなどを通じて一般向けの販路拡大も支援します。



【問合せ】経営支援課 経営支援係 [Tel] 03-3802-4808

楽しい!おいしい!うれしい!

【会場】南千住野球場(荒川区南千住6-45-6)ほか

お知らせ

4月29日
(月・祝)
10時~16時

4月29日は南千住野球場へGO!!

第38回 川の手荒川まつり

パレードのほか、荒川区や交流都市の名産品を販売するふるさと市、どじょうや金魚のつかみ取りなど、子どもから大人まで楽しめるコーナーをご用意。また、ステージではキャラクターショーや区内グループのダンスなども開催する予定です。ぜひお越しください。



【問合せ】観光振興課 [Tel] 03-3802-4689

第45回 商業祭

区内の商店・商業者が多数出店する人気の「商業祭バザール」、飲食品を販売する「模擬店」、売り尽くし販売の「我楽多市」などを行います。締めくくりには、毎回好評の「抽選会」を実施。区内共通お買物券や豪華景品が当たります。ぜひご参加ください。



【問合せ】産業振興課 商業振興係 [Tel] 03-3802-4674

参加者募集

「売り上げアップのための実践型セミナー」
LANP実践スパルタ経営塾・2期生募集!

「LANP実践スパルタ経営塾」は、知識だけを伝えるのではなく、専任講師が定期訪問を通してプロモーションの伴走支援を行う経営塾です。初回の昨年度は4社が受講し、全社でインスタグラムのフォロワー数が増加。また、ECサイトの売上が前年度比で141%増加した企業も出るなど、多くの成果につながっています。皆様のご参加をお待ちしています!



■全6回のセミナー内容(予定)

開催日	タイトル
1 4月22日(月)	年間目標を作成しましょう!(事業コンセプトの策定)
2 6月24日(月)	Instagramの戦略策定
3 8月26日(月)	売上を上げる写真とは? ~写真の撮影方法と活用方法~
4 10月28日(月)	前期6か月のアクションの振り返り
5 12月23日(月)	リール動画で売上を上げる
6 2月17日(月)	成果報告と今後の戦略策定

日時	偶数月第4月曜日 20時~22時(2月のみ第3月曜日)
会場	荒川区役所6階 産業経済部会議室
定員	5社(応募多数の場合は受講理由などを考慮の上決定)
対象	区内事業者で以下の条件を満たすもの ●すべての講義に参加できること ●LANP会員であること(LANP会員の申し込みと同時申し込み可)
講師	石田紀彦氏 中小企業診断士(MBAカメラマン)
申込み・問合せ	産業振興課 商業振興係 [Tel] 03-3802-3376 [e-mail] lanp@ml.city.arakawa.tokyo.jp ※詳細は荒川区ホームページをご覧ください https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a020/jigyousha/lanp/spartan2024.html



参加者募集

「事業化チャレンジ道場」
新製品開発で新規事業を立ち上げる!



新製品開発による新規事業立ち上げに関する一連のプロセスを習得し、新たな新規ビジョンの実現に挑戦する企業をサポートする事業化支援プログラムです。
※ソフトウェアやビジネスモデルのみの開発などを支援するものではありません。



対象企業	都内で実質的に事業を行う中小企業
参加人数	1社3人まで
実施場所	大田区産業プラザPiO(大田区南蒲田1-20-20)
費用	1社7万円(税込)
応募締切	4月12日(金) ※選考の上、決定いたします ※応募要件などの詳細はホームページからご確認ください https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/seminar/dojo_bosyu.html
問合せ	公益財団法人東京都中小企業振興公社 城南支社 経営支援担当 [Tel] 03-3733-6284 《問合せフォーム》 https://challenge-dojyo.com/contact/



お知らせ

【4月30日までに】
家内労働「委託状況届」をご提出ください



家内労働者に仕事(内職など)を委託する事業主は、毎年、4月1日現在の家内労働者数などについて、「委託状況届」を労働基準監督署に提出することが義務付けられています。4月30日(火)までに、ご提出ください。

問合せ	●東京労働局労働基準部賃金課家内労働係 [Tel] 03-3512-1614 ●足立労働基準監督署 [Tel] 03-3882-1188 ※詳しくは、東京労働局ホームページをご覧ください 東京労働局 家内労働 委託状況届
-----	---



協力事業者募集

「モノづくり見学・体験スポット」
見学や体験ができる工房や店舗を募集!

「モノづくり見学・体験スポット」は、製造工程の見学やモノづくり体験ができる、区が認定した工房や店舗です。認定されると、施設改修費など整備費用の一部を補助する制度もあります。ただいま、新たなスポットを募集中! 現在、区内の製造業の方で、今人気の体験型事業を検討している方、「モノづくりの街・荒川区」のPRIに協力してくれる方など、ぜひこの機会にご応募ください。詳しい内容を知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。



対象	次のいずれかを満たす区内の工房や店舗など(法人・個人は問いません) ●「モノづくり」を体験できる ●「モノづくり」がテーマの展示品を公開できる ●製造工程などの現場を公開できる
補助率	補助率2/3。限度額100万円 ※8月末(予定)~令和7年3月末までに完了する改修などが対象
申込書の配布	荒川区ホームページからダウンロードできます https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/kankoleisure/kankou/monodukuri.html 観光振興課(区役所本庁舎6階)でも配布しています
締切	5月31日(金)※持参または郵送
申込み・問合せ	観光振興課 [Tel] 03-3802-4689 [e-mail] kankou@city.arakawa.lg.jp 〒116-8501(住所不要)荒川区役所6階観光振興課 ※事前にご相談ください



融資制度

【区内企業対象】
「荒川区中小企業融資制度」をご利用ください

区内中小企業の皆さんを対象に、低利で受けられる制度融資をあっせんしています。

対象者	荒川区内に住所または事業所がある中小企業者であること(東京信用保証協会の保証対象業種であること) 【個人】荒川区に事業主の住所または営業の本拠地があること 【法人】荒川区に本店登記があり、かつ営業の本拠地があること ●荒川区内において、引き続き1年以上事業を営んでいること(個人・法人) ●各種税金などを滞納していないこと(個人・法人) ●事業に必要な許認可などを受けていること(個人・法人)
申込期限	通年
融資限度額	500万円~2,500万円
返済期間	【運転資金】1年~8年 / 【設備資金】1年~10年 【運転設備併用資金】1年~8年
利子補給	0.3%~1.4%(区負担0.5%~1.6%)
保証料補助	全額補助(ただし、特別融資3本目から補助率1/2)
問合せ	経営支援課 融資係 [Tel] 03-3802-4684 ※詳細は荒川区ホームページをご覧ください https://www.city.arakawa.tokyo.jp/jigyousha/jigyounet/kigyoyuushi/index.html



※経済急変対応融資(原油高・物価高騰等対応)のあっせんも行ってまいりますので、ご利用ください。(詳しくは荒川区ホームページからご確認ください。)

お知らせ

消費生活センター「出前講座」
社員研修などにご活用ください!



専門の消費生活相談員が研修会などにうかがい、SNSをきっかけとした悪質商法などの最新情報を踏まえながら「消費者トラブル」にあわないための注意点を話します。ぜひご利用ください。

対象	社員研修や会議など
日程等	日程・時間・内容をご相談ください
実施日程	原則希望日の1か月前まで
問合せ	消費生活センター出前講座担当 [Tel] 03-3802-4673

プロの一途

モノづくりの現場から

このコーナーは区内のモノづくりの現場を訪ね、プロのモノづくりへの姿勢や一途な思いを伺うコーナーです。今回は「東京TASKものづくりアワード2023」で優秀賞と奨励賞を受賞した企業を訪ねました。

【東京TASKのご紹介】

東京TASKは、台東区・荒川区・葛飾区が3区合同で、ものづくり企業の新しい挑戦を支援するプロジェクトです。東京TASKものづくりアワードを毎年開催しています。



「東京TASKものづくりアワード2023」優秀賞受賞 株式会社東京ベル製作所

機能性とデザイン性を両立したベルメーカー

創業は昭和24年。東京都からの要請で不良自転車の整備事業を始め、後にベルの製造に業種転換し、昭和32年に荒川区西尾久に移転。技術力の高さから国内有数の自転車用ベルメーカーとなりました。時代の変遷とともに自転車の製造工場が海外へ移ると、ベルの納品先は国内外の自転車専門店やホームセンターへと変化。現在は後に開始した販促器具の製造事業が好調で収益の約7割を占めています。市村さんは13年前に社長に就任。顧問デザイナーを交えた会議を通じて新製品開発やデザインに注力しています。優れた機能性とデザイン性を兼ね備えた製品は、これまでにグッドデザイン賞などで各賞を受賞。荒川区の「あらかわモノスポ」などにも参加し、地域との関わりも大事にしています。



東京の本社工場ではスーパーマーケットなどにあるセル表示や商品説明用のPOPなどの販促器具を製造し、埼玉工場ではベルやアウトドア関連製品を製造。

優秀賞受賞製品 トレイルランニング用熊避けベル「CLIP BELL」

山中を駆け回るトレイルランニングでは、ルールで熊避けベルが必須品となることがあります。「走行中は邪魔にならないように体にフィットし、山中以外では簡単に消音できることが重要です」と開発責任者の勢畑さんは言います。CLIP BELLは、本体をプラスチック製のクリップ式にして、軽量で取り付けやすくしました。鈴の音も、ON-OFFの切り替えがワンタッチで素早くできるように、磁石を使用。実際に使ってもらい、使用感を参考にして今のカタチに完成させました。



1 余韻を伸ばす穴とメカニカルなフォルムの自転車用ベル「テクノベル」。2 登山やハイキングなどに適した、澄んだ高音が響く熊避けベル「森の鈴」。3 ペーパーフィルターもドリッパーバッグも使用できる、折り畳めるアウトドア用「SUS コーヒードリッパー」。

【公式サイト】<http://www.tokyobell.co.jp/>

【問合せ】株式会社東京ベル製作所 [Tel]03-3893-5741 [住所]荒川区西尾久4-8-4



「東京TASKものづくりアワード2023」奨励賞受賞 花嫁わた株式会社

環境配慮型の日常使いできる寝袋を開発

花嫁わたは、明治14(1881)年創業の区内屈指の老舗企業です。大切なものを捨てずに「活かす」という想いで、平成2年に布団の製造販売から「布団のリフォーム」専業へと舵を切り、その後、「布団のクリーニング」も開始。生協や大手のテレビ・カタログショッピングを中心に事業を展開しています。吉村さんは15年前に社長に就任。コールセンターの起ち上げやITシステムの導入で事業の近代化を進めました。今回受賞した「フェーズフリー 2WAY寝袋」は、「シェアリング羽毛の活用」という新たな事業から誕生したもの。環境問題に精通している開発担当の山口さんが、大切な天然資源である羽毛を再利用する事業のなかで製品化を実現しました。事業拡大を見据えて群馬県の新工場も稼働する予定です。



【問合せ】花嫁わた株式会社 [住所]荒川区東日暮里6-49-18

[Tel]03-3803-3311 【公式サイト】<https://hanayomewata.jp/>

花嫁わたが誇る布団の「リフォーム」&「クリーニング」の流れ



1 リフォームやクリーニングをする布団は、かさや高さ、状態などをチェックして、独自開発のIT管理システムで個別に管理します。2 ゴミやダニの死骸などを取り除きながら、布団の素材(わた・羊毛・羽毛など)の状態に応じてスチーム洗浄または水洗いします。3 リフォームの場合は目減りした分の素材を新たに追加し、素材をふっくらさせるパワーアップ加工を施します。4 素材を生地に充填し、1枚1枚を金属探知機を通して、小さな金属片や異物がないかのチェックをして完成です。

奨励賞受賞製品 フェーズフリー寝袋のシェアリングリフレッシュサービス

「フェーズフリー 2WAY寝袋」は、普段は肌掛布団として使いつつ、ファスナーを閉めると寝袋にもなる羽毛布団。日常で使っているものが緊急時にもそのまま使える「フェーズフリー」の発想から開発しました。廃棄予定の羽毛を再生する「グリーндаウンプロジェクト」に参加しており、再利用ながら高品質で清潔なシェアリング羽毛を使用。この羽毛を使った製品をお渡しするため、通常の布団リフォームと違い、購入する時に布団が使えなくなることはありません。



モノづくりブランド 「ara!kawa」

令和5年度の認定商品が決定!!

「ara!kawa」の認定商品発表会を1月31日(水)に「ゆいの森あらかわ」にて開催しました。今年度に新たに認定された3商品を紹介し、認定証授与式を実施。今後も情報発信を積極的に行い、荒川区の優れた商品を区内外に力強くPRしていきます。



【令和5年度 新認定商品】

- 1 BOOK NOTE (渡邊製本株式会社) 製本職人が刷毛で仕上げた開きの良い丈夫なノート
- 2 MUNEPESI TOWEL (munepesi) 温泉施設などで胸元をさりげなく隠すことができるタオル
- 3 帆布×岡山産デニムのベビーリュック(ベビーリュック専門店noa) 抱っこ紐バッグとベビーリュックの2WAYで使える!

【問合せ】経営支援課経営支援係 [Tel] 03-3802-4808

【発行】荒川区産業経済部
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
[Tel] 03-3802-4672 [Fax] 03-3803-2333
[e-mail] sangyo@city.arakawa.lg.jp

【荒川区ホームページ】
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>
あらかわ産業ナビ
で検索か二次元コード→



スマホやタブレットなどのカメラ機能やアプリを使って読み取ってください。
リサイクル適性 A この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

